

## 北九州市教育委員会の事務の管理及び執行の状況の 点検及び評価について（令和元年度実績）

### 1 実施にかかる基本的な考え方

- 地教行法第26条では、点検・評価は、教育長及び事務局の事務執行を含む教育委員会の事務の管理及び執行の状況について行うこととされている。
- 本市教育委員会では、令和元年8月に策定した「第2期北九州市子どもの未来をひらく教育プラン」に掲載された施策を対象として、策定時に設定した指標などに基づいて有効性などの視点から点検・評価し、今後の施策や事務事業の方向性の検討に活用する。
- また、法第26条第2項では、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図ることとされていることから、外部の学識経験者を選任し、評価の内容などについて意見を聴くこととする。

### 2 点検・評価の方法

#### （1）点検・評価の実施単位

- 「第2期北九州市子どもの未来をひらく教育プラン」を構成する施策ごと
- ・「確かな学力の育成」など12施策

#### （2）点検・評価の指標

各施策に設定された重点指標、参考指標

- ・重点指標：各施策の進捗を評価するために必要かつ適切な指標
- ・参考指標：重点指標を補足するために必要な指標

※各指標の項目及び目標値については、原則、現在設定されているものを使用するが、今後、教育をとりまく社会状況の変化等により齟齬が生じた場合は、必要に応じて見直しを行う。

#### （3）点検・評価の視点とまとめ方

重点指標の達成率を踏まえ、4段階評価

- A 大変順調、B 順調、C やや遅れ、D 遅れ

※評価基準（達成率と評価の考え方）について、これまで曖昧な部分があったため、数値的な根拠に基づいたものとする。

#### （4）点検・評価の手順

- ① 施策所管部の自己評価
- ② 企画調整課での総合調整
- ③ 学識経験者の意見聴取
- ④ 教育委員会評価の決定

※点検・評価の実施主体は、教育委員会

※結果の公表時に、学識経験者の意見を付して公表

教育委員会の透明性を高め、地域住民に対する説明責任を果たすため、教育委員会会議の審議状況や活動状況等について報告書に盛り込む。

### (1) 役割

- 点検・評価の客観性を担保するため、
  - ・教育委員会が実施する評価の内容や評価結果などに関すること
  - ・点検・評価制度の改善点などに関すること
- 等に対して意見を述べる。

### (2) 候補者（案）

#### ○福岡教育大学 教育学部 教授 坂本 憲明氏

元北九州市次期教育プラン策定に係る懇話会副座長(平成30年10月から令和元年9月)  
元北九州市学力向上推進会議委員長(平成26年から平成28年)  
専門分野は理科教育

#### ○西南女学院大学 保健福祉学部 教授 今村 浩司氏

元北九州市次期教育プラン策定に係る懇話会構成員(平成30年10月から令和元年9月)  
北九州市不登校等に対する総合的な検討に関する有識者会議座長(令和元年11月～)

#### ○保護者・地域代表 北九州市PTA協議会から推薦予定

※令和元年度は 北九州市PTA協議会 母親委員会副委員長 武谷貴代美氏から意見聴取した。

### (3) 意見について

施策ごとの気になる点及び最後に全体的な意見をいただく。なお、全体的な意見については、今回のプランで新たに取り入れたSDGsの視点を踏まえたご意見をいただく。

9月議会（本会議初日に諸報告として議会に報告、決算特別委員会で報告）

5月中旬 ～ 6月中旬	教育委員会会議〔実施方針についての協議〕 施策所管部による点検・評価
6月中旬 ～ 7月上旬	企画調整課による総合調整
7月中旬 ～ 8月上旬	外部委員への説明、意見聴取 結果報告書とりまとめ
8月上旬 ～ 8月中旬	教育委員会会議〔協議、点検・評価の確定〕
9月	9月議会 諸報告、決算特別委員会報告 市HPで公表（議会への報告後）

○「点検・評価報告書」の記載内容の改善

「第2期北九州市子どもの未来をひらく教育プラン」（令和元年8月）の策定に伴い、点検・評価報告の記載内容についても、施策ごとの指標を中心に、表やグラフ、写真を用いて視覚的により分かりやすい表記を行うなど、内容の改善を図る。（別紙イメージ図）

# 令和元年度各施策の点検・評価（イメージ図）

別紙

## 施策1 確かな学力の育成

施策評価	指標の達成率	重点指標										
		項目	H30(2018)基準値	R1(2019)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)				
<b>B</b>	<b>b</b>	全国学力・学習状況調査結果平均正答率全国比 (行政評価項目)	小6	目標	—	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		
				実績	98%							
				達成率	—	0%						
			中3	目標	—	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		
				実績	97%							
				達成率	—	0%						
	<b>b</b>	学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）読書を全くしない児童生徒の割合 (行政評価項目)	小6	目標	—	19.0%	18.0%					
				実績	22.7%							
				国(実績)	18.7%							
				達成率	—	200.0%						
				中3	目標	—	36.0%	35.0%				
					実績	38.8%						
			国(実績)		32.9%							
			<b>b</b>	中学校卒業段階で英検3級(CEFRA1)程度以上の生徒の割合 (行政評価項目)	小6	目標	—	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%
						実績	47.5%					
						国(実績)	42.6%					
					中3	目標	—	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%
						実績	47.5%					
国(実績)	42.6%											

R3年度以降の目標については、R2年度策定予定の「子ども読書プラン」次期計画にて決定

		参考指標						
項目		H30(2018)基準値	R1(2019)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	
授業で学級やグループで話し合う活動が授業で行われていたと回答した児童生徒の割合	小5	目標	—	85.2%	86.4%	87.6%	88.8%	90.0%
		実績	83.9%					
		達成率	—	0.0%				
	中2	目標	—	82.0%	84.0%	86.0%	88.0%	90.0%
		実績	80.8%					
		達成率	—	0.0%				
授業の最後に学習したことを振り返る活動が行われていたと回答した児童生徒の割合	小5	目標	—	82.0%	84.0%	86.0%	88.0%	90.0%
		実績	79.7%					
		達成率	—	0.0%				
	中2	目標	—	76.9%	80.2%	83.5%	86.8%	90.0%
		実績	73.6%					
		達成率	—	0.0%				
授業以外（月～金曜日）の学習時間が1時間以上の児童生徒の割合 (行政評価項目)	小6	目標	—	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上
		実績	58.1%					
		国(実績)	66.2%					
	中3	目標	—	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上
		実績	59.3%					
		国(実績)	70.6%					
授業で課題の解決に向けて自分で考え、自分から取り組んでいたと回答した児童生徒の割合	小6	目標	—	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上
		実績	96%					
		国(実績)	96%					
	中3	目標	—	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上
		実績	96%					
		国(実績)	96%					
英検準1級(CEFRB2)以上等を取得している教員の割合（中学校英語担当教員）	目標	—	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	
	実績	27.9%						
	国(実績)	36.2%						
	達成率	—	#DIV/0!					

- 全国学力・学習状況調査では、小学校の国語 A 問題で、平成19年度の調査開始以来、初めて全国平均を超えた。また、国語に関しては、小学校 B 問題、中学校 A、B 問題とも全国平均に近付いている状況である。
- 本市独自の調査である「北九州市学力状況調査」では、全国学力・学習状況調査の結果と併せて、児童生徒一人一人の学力をよりきめ細かに把握・分析し、指導の充実・改善を図った。
- 「学力定着サポートシステム」の活用を行うとともに、「子どもひまわり学習塾」においては、小学校 101 校、中学校 62 校を対象に実施した。
- 読書活動の推進については、子どもの読書活動の推進拠点となる「子ども図書館」が開館し、「新・北九州市子ども読書プラン」に基づく施策を推進した。

平成31年度（令和元年度）  
全国学力・学習状況調査



北九州市教育委員会



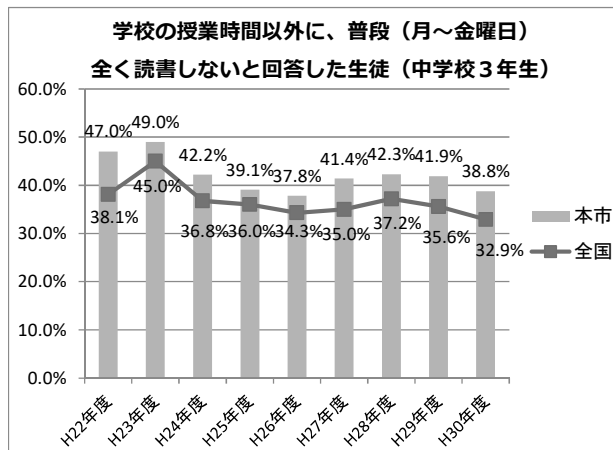
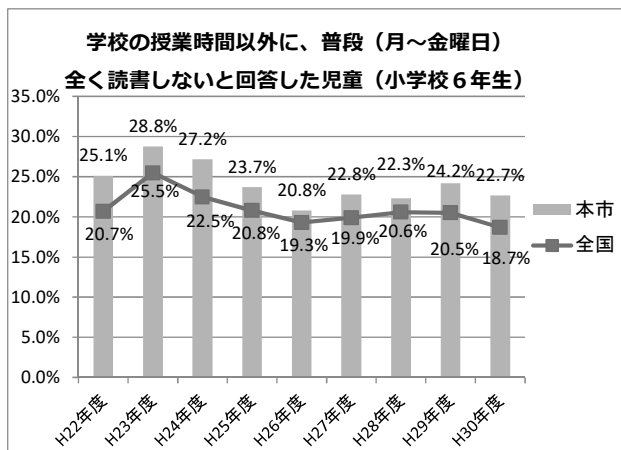
●全国学力・学習状況調査（平均正答率）

小学校		国語A	国語B	算数A	算数B	理科	合計
H30 年度	本市	71	54	61	50	60	296
	全国	71	55	64	52	60	301
	対全国比	101%	99%	96%	96%	99%	98%

中学校		国語A	国語B	数学A	数学B	理科	合計
H30 年度	本市	75	60	63	44	64	306
	全国	76	61	66	47	66	316
	対全国比	99%	99%	95%	93%	97%	97%



●学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、全く読書しない（全国学力・学習状況調査）



●英検3級（CEFR A1）程度以上を取得又は相当の英語力を有する生徒の割合（中学校3年生）

（文部科学省：英語教育実施状況調査）

※下記図の●は全国平均、◆は本市を表す

